和紙の里 ひおき

発　行　令和6年1月25日
日置地区まちづくり協議会
鳥取市青谷町山根218
電 話　0857－86－0836
FAX　0857－86－0837
Eメール cc-hioki@it.city.tottori.tottori.jp
題字　棚田　大さん

34号

新たな取り組み

協働のまちづくり一括交付金助成事業について

平成20年に制定された「鳥取市自治基本条例」に伴い、平成20年11月25日に「日置地区まちづくり協議会」が設置され、まちづくり協議会への支援として令和元年度より「一括交付金制度」が開始されました。現在、日置地区では導入していませんが、1月に開催された木曜会（会長、副会長、集落区長、有識者、事務局で構成）で鳥取市役所協働推進課の説明を受け、今後導入する方向で検討していくこととなりました。

※本誌裏面に、事業の柱である組織の一体化、事業の一体化等についての市の説明資料(一部抜粋)を載せていますのでご覧ください。

今後の予定

2月

2月　1日(木)19:30～20:30　第4回福祉部会

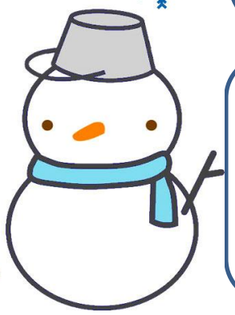
2月18日(日)13:30～14:30　臨時木曜会
〃　　15:00～16:30　日置を語る会
※詳細は別紙案内チラシをご覧ください。

2月26日(月)19:30～20:30　第2回環境部会

3月

3月10日(日)　日置川清掃
※詳細は2月末発行の案内チラシで

3月17日(日)　健康づくりウォーキング
※詳細は2月末発行の案内チラシで



特産品部会

みそ作り

5人1組で仕込みをするみそ作りが1月11日を皮切りに始まりました。
皆さん手際よく和気あいあいと作業をすすめておられました。

みそ作り教室　*参加者まだまだ募集中です！*

- ❖日　　時：**令和6年2月9日（金）**
  午前10時～11時30分
- ❖場　　所：日置地区公民館　調理室
- ❖参加費　：1口1，200円
- ❖持ち物　：容器（無い方には、事務局で準備します※500円/個）
- ❖募集口数：残り19口　（1口：約3kg分）
- ❖募集締切：2月5日（月）

日置地区公民館(☎ 86-0836）へお申し込みください。

環境部会

古紙・アルミ缶回収にご協力いただきありがとうございます！

古紙資源回収の実績報告

	9月	10月	11月	12月	合　計
段ボール(kg)	930	840	750	1,130	3,650
新聞・雑誌(kg)	760	940	500	1,170	3,370
合計(kg)	1,690	1,780	1,250	2,300	7,020
収益金(円)	1,690	1,780	1,250	2,300	7,020

※令和5年7月分から1kg当たり1円の収益金がまち協会計に入るようになりました。なお、古紙回収実績による鳥取市再資源化等推進事業奨励金は、従来通り青谷小中学校PTAに全額寄付しています。（1kg当たり6円）

アルミ缶回収の実績報告

	9月	10月	11月	12月	合　計
重量(kg)	39.0	33.2	23.2	37.8	133.2
収益金(円)	1,170	996	696	1,134	3,996

※アルミ缶回収ボックスは令和4年10月に設置。1kg当たり30円の収益金がまち協会計に入るようになりました。

お願い

★古紙回収ボックスについて
・古紙は、入口の扉を開けて雨や雪のかからない奥の方からつめて入れてください。
・紙類以外のビニールやプラスチック素材のものを入れ込まないでください。（ファイル表紙やアルバムなど）

★アルミ缶回収ボックスについて
・空き缶を入れて持参した袋はお持ち帰り下さい。

防災部会　―防災指導員を推薦

令和5年度の「鳥取市防災リーダー養成研修」を3日間受講していただいた、房安太さん（河原）、房安正彦さん（河原）、足利賢次さん（山根）の３名の方が日置地区防災リーダーとして認定を受けました。そして、この度、房安太さんを「防災指導員」に推薦しました。防災リーダー及び防災指導員の方には、今後、地域防災力の強化を図る活動の支援をしていただくようになります。

一括交付金制度について

（１）概要

「一括交付金制度」とは、地域コミュニティの充実・強化を図るため、学びの成果を生かした住民主体のまちづくりを推進することを目的に実施するまちづくり協議会の事業に対し、関連する補助金を一括交付するものです。

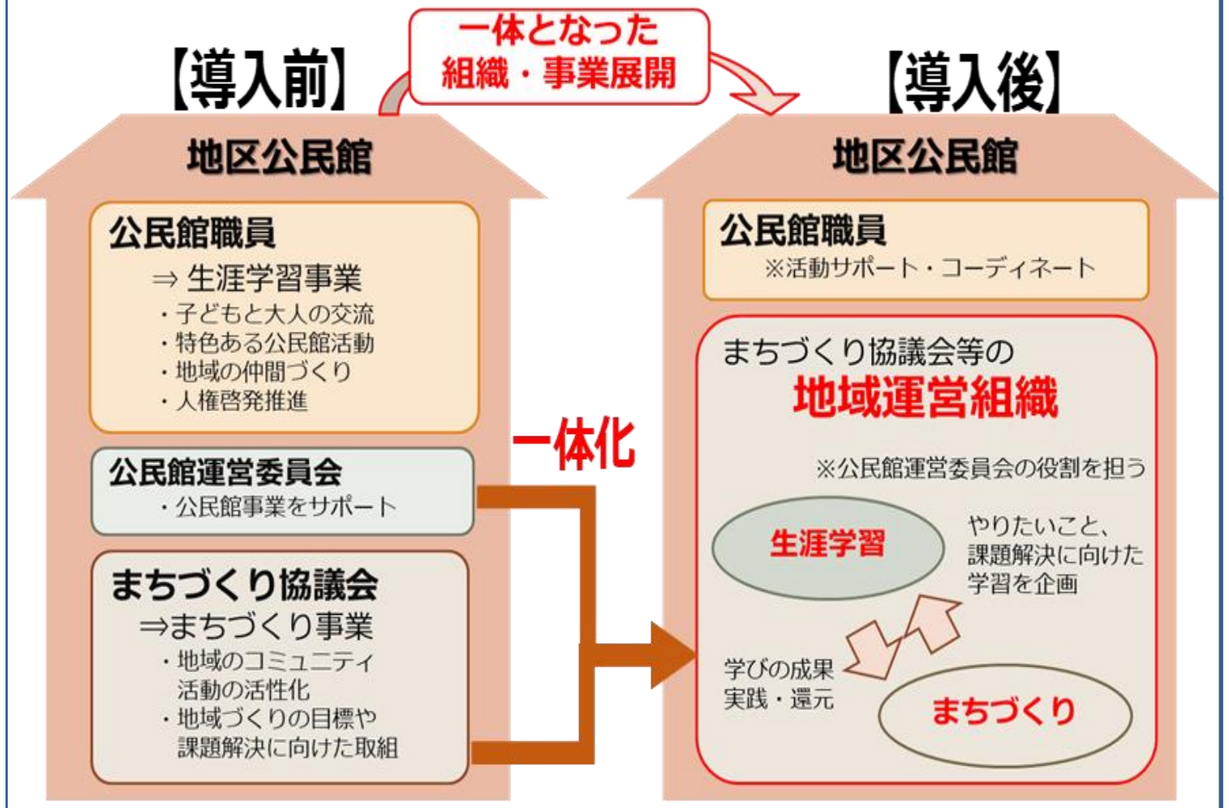
限られた市の財源・限られた地域の人材の中で、地域の抱える課題を解決するため、『組織の一体化』と『資金の一本化』を同時に進めることが本制度の目的となります。

（２）制度内容

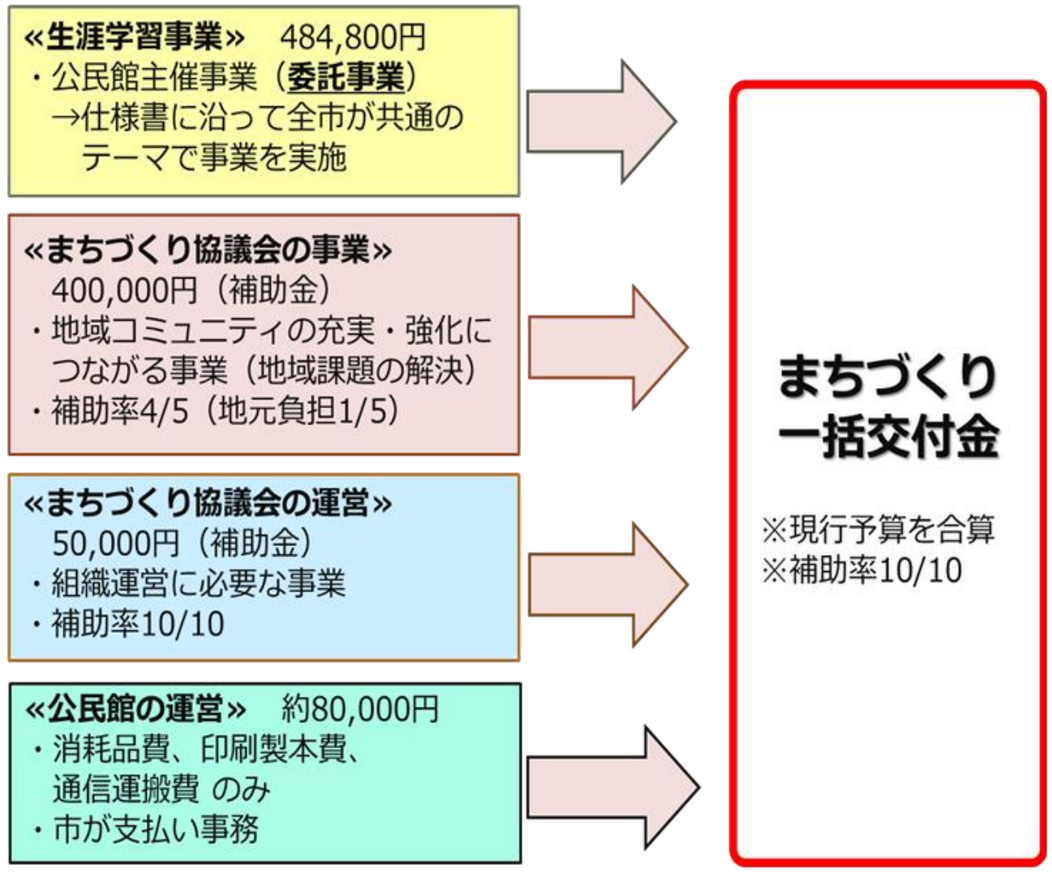
①組織の一体化

まちづくり協議会と公民館運営委員会の組織を一体化します。

メリット：類似機能の組織が一体化することで組織の整理・役員の負担軽減へつながる
生涯学習とまちづくりの事業の結びつきが強くなり、事業展開の幅が広がる



②資金の一本化

まちづくり協議会と地区公民館に関連する補助金等を一括交付します。

メリット：活動資金の一本化により、柔軟かつ地域の実情に合った事業展開が可能
補助申請や実績報告、監査などの手続きが１回に集約